

# 鹿兒島大学歯学部学生海外研修報告

西谷 佳浩

歯科保存学分野

## はじめに

鹿兒島大学歯学部のディプロマポリシー（学位授与方針）の1つに、「離島を含めた地域および国際社会における歯科医療の多様性を理解し、地域、国際社会において幅広く活動する素養を身につけるとともに、歯科医学、医療の社会的役割を理解することが出来る能力」があります。鹿兒島大学歯学部では、これに関連する授業として「海外歯科研修プログラム」を開講しています。具体的には、鹿兒島大学歯学部と部局間協定（学術交流協定）を締結した海外の歯学部を中心に、学部学生が双方向で短期間の海外研修を行っています。現在研修可能な大学は北米、東南アジア、東アジアにおいて6校であり（表1）、2016年9月のカナダ・ブリティッシュコロンビア大学での研修を皮切りに、これまでに4年生または5年生の20数名が参加しています（表2）。また2019年の1月には台湾・高雄医学大学の5年生3名が鹿兒島大学歯学部において海外研修を行いました。

研修を終えた全ての学生から、非常に有意義な研修であったことが報告されています。

高雄医学大学の海外研修担当教員および学生からも、鹿兒島大学での海外研修に対して感謝されました。

表1. 2018年度に研修可能な大学

国	大学名
カナダ	ブリティッシュコロンビア大学
インドネシア	アイルランガ大学
	インドネシア大学
台湾	高雄医学大学
	陽明大学
中国	香港大学

表2. 鹿兒島大学歯学部学生の海外研修実績

年度	研修先	参加人数	研修時期
2016	ブリティッシュコロンビア大学	4	2016年9月
	アイルランガ大学	2	2017年3月
2017	アイルランガ大学	3	2017年9月
	高雄医学大学	7	2018年3月
	香港大学	2	2018年3月
2018	ブリティッシュコロンビア大学	3	2018年9月
	アイルランガ大学	1	2018年11月
	高雄医学大学	2	2019年3月

## 研修報告について

2019年3月に高雄医学大学での研修プログラム（表3）、研修を終えた学生の報告書（一部抜粋）を示します。

表3. 台湾・高雄医学大学（KMU）での研修プログラム

The schedule of clinical clerkship in KMU hospital				
	3/11	3/12	3/13	3/14
Morning		Orthodontics	Oral Maxillofacial Surgery	Prosthodontics
Afternoon	Conservative Dentistry (OD & ENDO)	Periodontics	Pediatric Dentistry	Oral pathology

## <歯学部4年生 上床咲貴>

高雄医学大学の講義では英語のみで、全員が英語で会話したり英語でカルテを書いたりすることができ、同じ歯学部の学生として努力の差を感じた。また、台湾では日本語を学ぶのが人気で、学生の1~2割が日本語を話すことができ、三か国語を話せることに強く感心した。一方で診療中の身なりについては自由で、基本的にプロフェッションと身なりは関係ないというのが彼らの考えとのことだった。さらに日本では治療中に私語は慎むよう教育されている一方で、治療中で

も治療に関係のない話を医療者内でしていることもあったが、歯科医療に限らず街の人々も同様に自由に会話しながら働いていたこともあり、国の文化の違いであるのだろうと感じた。その他、問診票に宗教や学歴についての欄があったり、未だ歯科衛生士の制度がなく、スケーリングなども歯科医師の仕事であることを知ることができた。三年生の時の地域医療学実習で開業医の診療の様子は見たことがあったが、大学病院での治療は今回の研修が初めてで、興味深い症例をいくつも見ることができ、多くの知識を得ることができたとともに、これからも研鑽に努めたいと思った。

#### <歯学部4年生 伊地知南海>

ポリクリが始まっていなかったなのでこの台湾の研修は一足早く臨床実習を経験できたような気がして、とてもいい経験になりました。また、授業がすべて終わった後でわかる部分も多く、台湾の先生方も日本語を話すことが出来る方もちらほらといて下さったおかげで理解も深まったし、英語の単語知識を増やすこともできました。台湾の学生でも日本語を話すことが出来る方が多くいることには、とてもびっくりしました。さらにみんな独学だと聞いて、世界に進出していけるようにと大きな夢を持っていることに尊敬しました。今現在、歯学部の授業の中で国際医療人育成学というもので英語を学んでいますが、台湾にきて英語がわからないと理解することもできないと少し感じたので、しっかり学習して身に付けていこうと思いました。この研修はすごく自分の意識を高めることが出来るものでもあったし、日本ではない国の歯科医師の姿を見ることはとても勉強になることばかりで楽しかったです。

#### おわりに

「海外歯科研修プログラム」については、2019年度も海外研修先が増える予定となっており、今後ますます海外研修の機会が増える予定です。同時に海外からの学生受入れについても継続して行う予定です。海外研修プログラムが、国際社会において幅広く活動する素養の修得に貢献することが期待されます。

最後に、学生が海外研修を行うにあたっては、複数の委員会が関わり、多数の教員・事務担当者のサポートによって研修が成り立っています。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



図1. 高雄医学大学の先生方

左から陳教授、王教授、李院長、伊地知さん、上床さん、西谷